

# Shiromikai News

## 第15号

### 城見会ニュース

2011年7月31日発行



発行/アムスグループ  
〒540-0001 大阪市中央区城見1-4-70  
住友生命OBPプラザビル6F  
TEL: 06-6945-0350 (代)  
http://www.ams-group.jp/

### 予防医学部門

アムスニューオータニクリニック  
アムスランドマーククリニック

創立25周年を迎え更なる飛躍  
東京・丸の内にも新クリニック開設へ



医療法人城見会は、今年9月1日をもって創立25周年を迎えることとなります。昭和61年9月、アムスニューオータニクリニックを開設して以来、平成5年開設のアムスランドマーククリニックを含めると、延べ82万人(平成23年7月)の受診者の皆さまの健康チェックに関わってまいりました。25周年を迎えることができましたのも、皆さまのご支援のおかげと感謝いたしますとともに厚く御礼申し上げます。

この25周年を記念しまして、アムスでは受診者の皆さまに向けた様々な取組みを進めております。4月からは、受診の際にお届けしております「受診セット」をより見やすく解かりやすくしたものに新しくいたします。多くの受診者の方々から好評をいただき、評価をいただいております。そして、受診に際してのユニホーム(受診着)につきましても25周年を機に新しくなります。受診着のデザインを変更するのは15年ぶりのことです。デザイン



はもろろんのこと、機能性や肌触り・着心地感といった生地を選定にも力を入れており、斬新なスタイルとリラックスクスできる着心地感によってご満足いただける受診着を目指しています。

また、25周年を迎え、新たな事業として3施設目となる人間ドック専用施設「アムス丸の内パレスクリニック」(仮称)を来年4月、東京・丸の内(仮称)に開設する準備を進めております。

東京の表玄関であり、日本経済の中核でもある丸の内、その1丁目1番1号に開設予定の「アムス丸の内パレスクリニック」(仮称)は、現在建設中のパレスホテルに隣接する

居が目の前と、都心にあって緑豊かな自然環境に恵まれており、そんなロケーションの中でゆったりくつろぎながら受診していただける施設を目指しています。詳細につきましては、今後紹介していく予定です。



パレスビル(左)とパレスホテル外観イメージ

### 教育部門

アムス柔道整復師養成学院

平成23年度 アムス特別講座スタート!!

治療困難な機能障害を抱えている方が多い現代社会において、高齢者における機能障害の予防、青少年のスポーツ傷害のケアなど、機能回復の助けをする柔道整復師の役割はますます重要になってきています。アムス柔道整復師養成学院では、柔道整復師の枠にとらわれない幅広い知識と、時代の変化に柔軟に対応できる、プラスαの力を持った柔道整復師を育成するために、昨年より特別講座を開講しております。



今回の特別講座では、「トレーナー講座」として、新たにトレーナー派遣組織



ゴリラックス代表の大前隆司講師をお迎えし、傷害評価や応急処置、コンディショニングといった基本的な知識・技術の紹介に加え、昨年に引き続き、元西武ライオンズトレーナーの佐藤圭司講師による最新のトレーナー事情の紹介など、トレーナー活動全般について講義します。

また「代替医療講座」として、様々な療法を実践されている先生方を講師としてお迎えし、実際にその療法を体験する機会を設け、自身が体験した療法について理解を深めていく講義を実施いたします。乞うご期待ください。

#### 7/25 傷害評価、応急処置 大前隆司 講師(ゴリラックス代表)

【概論】 傷害、RICE 処置、創傷 【実技】 RICE 処置、創傷処置

#### 7/26 テーピング 大前隆司 講師(ゴリラックス代表)

【概論】 固定の目的、力の活用(張力・圧迫力) 【実技】 足関節捻挫予防

#### 7/27 コンディショニング 大前隆司 講師(ゴリラックス代表)

【概論】 トレーニング概論、ピリオダイゼーション

【実技】 ローカルマッスルの活性、アクティブストレッチ、ダイナミックストレッチ

#### 7/29 プロ現場でのトレーナー業務紹介 佐藤圭司 講師(元西武ライオンズトレーナー)

福岡ソフトバンクの秋季キャンプに帯同した際の業務内容の紹介や、実際にプロの現場で実践しているコンディショニング実技について、実演を交え紹介(予定)

#### 7/1 療法講座 I (レインボー療法) 梅原ともや 講師(国際レインボー医学学会)

①レインボー療法の可能性(総論と論文・実験・臨床例の紹介)

②腰痛に対する施術法

③リウマチ、O脚・X脚、しびれに対する施術法

#### 7/2 療法体験会 澤田祐介 講師(元東海大学救急医学講座教授)

「かさリモデル療法」 木下 恵子 講師(ヒュゲイア予防医学研究所代表)

佐野 敦子 講師(ジュネス・リモデルサロン代表)

早川 喜芳 講師(早川診療院長)

「緩扶(ゆるふ)整体療法」 梅原ともや 講師(国際レインボー医学学会)

#### 7/3 療法講座 II (サイモントン療法) 田村 祐樹 講師(医師 彦根市民病院緩和ケア科)

①サイモントン療法を通じた、健康に対する影響力について紹介

②プログラムの一部を体験(コミュニケーションと癒しの関係)

### 地域医療在宅部門

アムス吹田在宅グループ

訪問看護師の資質を高めることで  
利用者の満足度を高める

訪問看護ステーションはこれまで利用者の皆さまにいかに対応していただけたかを考え実践してきました。おかげさまで当事業所をご希望される方も多く、昨年度の新規利用者数や訪問回数は近年では最も高い結果となっております(新規利用者数対前年度比33%増)。しかし一方で訪問回数が増えることで一件件の対応が手薄になったり、サービスの質が維持できなくなったりすることが考えられます。訪問回数が増加による利用者へのサービス低下は避けなければいけません。そこで、この5月から訪問看護師を3名増員し、総勢14名で更なるサービス向上に努めるべく体制を整えました。そして、各スタッフに対する教育方法を改善することで、今以上にサービスの質が向上できると考え、今回の職員増員の機会に教育方法の見直しを行ないました。一つは研修時に使用する研修チェックシートの見直しです。このチェックシートは訪問看護時の準備や、介護保険申請の流れなど、訪問看護師の業務を項目に分け、研修の進捗状況や内容確認ができるようになっております。しかし、このチェックシートの項目はいくつかの漏れがあり、研修を進めていくうえで支障をきたすことから改善することになりました。



社内研修会

としては、訪問看護師の役割心構えといった基本的な項目や体外力テールの使用方法等の技術での項目を加えることで、より実践に即した項目が網羅されスムーズに漏れなく研修が進められることとなります。もう一つは訪問看護ステーション内の社内研修会の強化です。訪問看護は現場ごとに状況が異なり、その場に即した対応が必要になります。特に社内研修として力を入れていくのが、ケーススタディによる事例検討会です。これは実際の現場で起こった事例を元にスタッフ同士で話し合い、解決方法や意見を交換することで相互に学び合うものです。今回の改善では、経験の浅いスタッフにも事例報告をしてもらい、より多くのスタッフにより多くの事例を共有できるようにしています。この他、職員との同行訪問による臨地実習を行なうなど、様々な状況を経験することでスタッフのレベル向上につなげ、利用者皆さまの満足度を高めていきたいと考えます。

今回の見直し

## 予防医学部門

### 人間ドック検査成績表が 新しくなりました



人間ドック受診後の検査結果を記載している「人間ドック検査成績表」の表紙デザインが変わりました。これまで無色だった表紙に、各クリニックの特色カラーを施しています。ニューオータニクリニックはグリーンを、ランドマーククリニックはブルーをそれぞれ基調とした配色となっています。

## オプション検査で精度の高い健康チェックを

人間ドックでは健康維持のために、幅広い年齢に対応できる基本的な検査を行います。しかし、生活習慣や年齢など人によって健康状態が異なるため、基本検査ではカバーできない領域があるのも事実です。そこで、ご自身の健康状態に合わせたオプション検査を選んでいただくことをお勧めしております。たとえばタバコを吸う方だと、「肺CT検査」や「シフラ(腫瘍マーカー検査)」、血圧が高めの方だと、「頸動脈超音波検査」をお勧めしております。他にも男性の方だと「PSA(腫瘍マーカー検査)」、女性の方だと「乳房超音波検査」や「HPV検査」、年齢層別だと40歳以上の方へ「ピロリ抗体検査」など、一人一人に合わせたオプション検査を選んでいただくことによって、より精度の高い結果を知ることができます。また、自覚症状がなくてもオプション検査を受けるこ

とで病気を早期に発見できる場合もあります。一方、腫瘍マーカー検査や、アディポネクチン検査、C型肝炎検査など、一部のオプション検査は基本検査の採血によって調べることができるため時間がかからず、お忙しい方にも選んでいただきやすくなっております。自分自身で何を選んだらよいかわからない場合は、当日検査が始まる前の問診時に専門スタッフにご相談ください。家族の病歴、既往歴、現病歴、前回の検査結果、自覚症状から総合し、一人一人に適したオプション検査のご案内をさせていただきます(※事前予約が必要な検査もございます)。アムスでは皆さまの健康状態に応じたオプション検査によって、より精度の高い医療の提供を目指しています。

(アムスニューオータニクリニック院長 山田 眞)

## 教育部門

### 校友会による総会・親睦会の開催

6月12日(日)にアムス柔道整復師養成学院にて、校友会による総会・親睦会が開催されました。校友会とは、卒業生と在校生からなる組織で、活動を通じて会員相互の親睦と、福祉の発展に寄与することを目的に活動しています。校友会は「勉強」と「親睦」を活動の二本柱とし、専門家による臨床技術講座や、高度な柔道整復学講座、医療人としての倫理観向上を図る講座など、多岐にわたる講座を、ほぼ毎週日曜日を休んで開講しています。そしてもう一つが親睦会です。交流会やバーベキュー大会などを年に数回開き、卒業生や先輩・在校生などと幅広く交流を図っています。総会では報告事項終了後にアムSOBによる講演会が行われ、柔道整復師を業として活動していくにあたり理解しておくべき事柄や、柔道整復師の業権についてお話いただきました。当学院の葉室代表理事の挨拶から交流会終了までの約三時間、会場は常にアットホームな雰囲気、参加者が年齢や学年に関係なく、同じ柔道整復師の志を持つ仲間として絆を深めることができました。有意義な親睦会となりました。



### 大阪医科大学 解剖見学実習

5月6日(金)に大阪医科大学(高槻市)にて2年生を対象とした解剖見学実習を行いました。2年生の段階でこの実習を行なうのは、1年生でひと通り「解剖学」を習い終え、一定の知識が身についた時点で実習に参加させることで、人体の構造についての理解を深め、得た知識を定着させることを目的としています。当日は大学から準備いただいたご献体を、大学スタッフの方が解剖しながら解説。学生は持参した教科書と解説内容を照らし合わせながら、解剖された臓器や筋肉について学びました。今回の見学実習は、机上では学べない貴重な経験になったと思います。この経験を今後活かして、更なる活躍を期待しています。

### 医大生による補習の実施

6月4日(土)より当学院内において、現役医大生を講師とした解剖生理学の補習(2・3年生対象)を行なっています。この補習は、国家試験科目の基礎である解剖生理学に対する苦手意識を払拭し、1年次の講義で習熟できなかった内容を補完する目的で実施しており、授業外の夕方や日曜日に実施しています。在校生と年齢的にも近い医大生に補習を担当してもらうことで、より学生目線での講義を可能にしてまいります。



## 地域医療在宅部門

### 今年も重度訪問介護 対応ヘルパー講習会を実施

吹田在宅グループでは、重度訪問介護にも対応できるヘルパーを育成することを目的に、今年度も「重度訪問介護対応ヘルパー講習会」を平成23年6月から平成24年3月まで全10回のプログラムに分けて実施しております。この取組みは、前年、前々年と各方面から高い評価をいただいております。今年度も3回目となります。重度訪問介護とは医療的ケアが必要であったり、状態変化の著しい利用者に対して、居宅における入浴・排泄・食事などの介護、又は介護相談や助言などを総合的に援助することです。いつまでも家族に囲まれ、自宅で安心して暮らすことは、利用者にとって一番望まれることであり、そうした地域の利用者へのニーズに応えていける方法をともに考え実践していきたいと考えます。



### 本年度の研修スケジュール

平成23年
6月24日 ヘルパーが行なえる医療的ケア
7月29日 ターミナルケアの理解
8月26日 ケアマネージャー、訪問看護の役割
9月30日 ALS(筋萎縮性側索硬化症)の理解
10月28日 実技(吸引、呼吸助動など)
11月25日 認知症の理解
12月09日 事故の発生予防について
平成24年
1月27日 パーキンソン病の理解
2月24日 事例検討(グループワーク)
3月30日 プロとしてのヘルパーの心構え

## 利用者からのお便り

この度は亡主人が色々とお世話になりました本当にありがとうございました。私たち家族の希望でもありました最後まで自宅で看取ることができましたのもひとえに皆さまのお力添えのおかげだと深く感謝申し上げます。改めまして介護の難しさに心の余裕も持てませんので皆様に多々御迷惑や無作法をしていたのでは…とお詫びを申し上げます。本来でしたらお伺いをしてお礼を申し上げるべきところですが失礼ではございますがお手紙の中でご挨拶申し上げます。季節の変わり目、皆さまご自愛のほどお祈りいたします。本当にありがとうございました。  
~大阪府吹田市在住の利用者のご家族より~



## 受診者からのメッセージ

### ご意見

急な用事が入って、予約日を変更しようと連絡したところ、予約変更にも関わらず気持ちよく対応していただき助かりました。(アムスランドマーククリニック 48歳・女性)

人間ドックは初めてでしたが、とてもきれいでびっくりしました。待ち時間も短く、一つ一つ検査の説明がキチンとされ安心して検査を受けることができました。(アムスニューオータニクリニック 46歳・女性)

人間ドックを受けるのは初めてでとても緊張していましたが、こちらのクリニックの方が大変親切で、そのうえ施設もきれいで雰囲気もよく、無事に受けることができました。(アムスランドマーククリニック 42歳・女性)

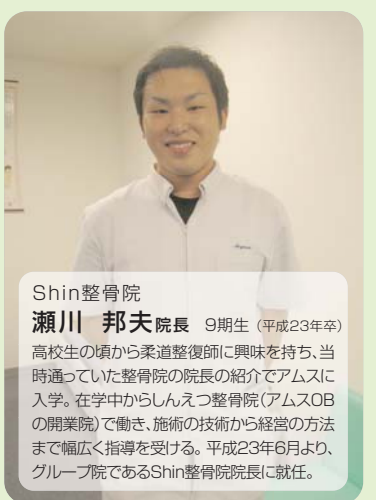
予約時間より早く到着してしまったんですが、5分後にはスタッフの方がみえて名前を確認してくれたので安心しました。細やかな心配りに気持ちのいい半日を過ごさせていただきました。ありがとうございます。(アムスニューオータニクリニック 55歳・男性)

受診前にメールで心配な点を問い合わせたら、早くて的確なアドバイスの返信をいただきました。すごく対応が良かったです。(アムスランドマーククリニック 44歳・女性)

## 学びのツボ 合格のツボ

「国家試験に合格するために一番必要なものは？」と聞かれると、「絶対に柔道整復師になるという強い気持ち」と私は答えます。と言うのも整骨院で働き、その後に授業に集中するのは体力的にも精神的にも大変きついものです。それに加えて予習、復習となるとあっという間に一日が終わります。当時、私も成績が伸び悩み、焦った時期がありました。そんな時、支えになったのがクラスの仲間です。出席できなかった授業のノートを見せてもらったり、わからない箇所を教えあったり、クラスみんなが団結して、全員で合格するという強い気持ちがありました。手技においては完璧に頭に叩き込んでから行ない、うまく出来なかった箇所を復習するなど勉強の効率化を図っていましたね。それ以外でアドバイスするなら、補習授業にはできるだけ参加することをお勧めします。苦手な科目だけでなく、ある程度理解している科目にも参加することで、その科目についての理解が深まり、知識が定着するからです。今年入学した新入生の方も時間が経つにつれ、焦りや不安も出てくると思います。そんな時にこそ、絶対に柔道整復師になるという入学時の強い気持ちを思い出し、日々の勉強に励むことで、自然と結果はついてくると思います。

Shin 整骨院 〒540-0024 大阪府大阪市中央区南新町 2-2-13 06-6943-5588



Shin整骨院  
瀬川 邦夫院長 9期生(平成23年卒)  
高校生の頃から柔道整復師に興味を持ち、当時通っていた整骨院の院長の紹介でアムスに入社。在学中からしんえつ整骨院(アムSOBの開業院)で働き、施術の技術から経営の方法まで幅広く指導を受ける。平成23年6月より、グループであるShin整骨院院長に就任。

## わたしの仕事観

アムスニューオータニクリニック医療部検査科主任 臨床検査技師 井上 登志美(\*超音波検査士)

### 「10万人を診てきた確かな目で、受診者の安全と正確な見極めを実践」

井上登志美さんは平成2年、臨床検査技師としてアムスに入社。以来、21年間にわたり受診者の方々の体から発する様々な異常を見極めてきました。その数はおそらく10万人近いといえるでしょう。アムスでは、心電図、超音波(エコー)、血液、尿、視力、聴力等の検査を中心に、まさに三面六臂の働きぶりです。そんな中、「安全と正確」を常に心がけて実践しているそうです。「『病変を見落とさないように精度を高める』という言葉をよく耳にしますが、見落とさないことが当たり前

のことなんです。だから『病変を見つけ出すための精度を高める』という言葉が正しいと思います。そして安全と正確さを追求していくことが私たち検査士に課せられた使命だと…。そのための努力は惜みず、日々研鑽あるのみだそう、超音波検査士の認定資格を取得されたのもその一つに過ぎません。井上さんは過去に何度か、自らの検査によって癌を早期発見し、その病を克服された方がまた元気に姿で人間ドックを受診されている様子を見ると、自身の仕事に対する誇りとやりがいにつながるそうです。



\*優れた超音波検査(エコー)技能を持つ検査士に対し、(社)日本超音波医学会が認定する資格。

